

## ～ 研修1 ～ 視点を改めて観えてくるもの

- ・同じ事象を見ても、視点を変えると違った事実が観えてきます。
- ・見方が変わるとプラスの力を伸ばす関わり方に気付くことができます。

ネガティブな視点を検証し、  
ポジティブな視点で捉えなおしてみましょう。

- ○○ができない → ☆☆があると○○が出来ることもある

☆☆が環境です

☆☆を増やして○○がいつでも出来るようにして自信をつけよう。

☆☆を増やすことが「環境を調整すること」です。



日常の中で、こども達の出来ないことに注目していることが多くないですか？

- Aちゃんは、もう○○なのに△△ができない
- Bちゃんは、いつも××ばかりで周りを困らせている
- Cちゃんは、集中力が無いので座ってられない
- アンダーラインのような表現が多くないですか？



視点を変えることを意識しましょう  
トレーニングも効果があります

- Aちゃんはまだ△△はできないが、□□はできる
- Bちゃんは、声をかけられれば××しないでいられる
- Cちゃんは図や道具を使うと集中して見ている
- 得意なことや出来ることを捉えて、そこを伸ばしたり支えることが効果がる



発想転換はいつでも、どこでも

- 自分の日常の記録や表現をもう一度見直してみよう
- 困ったことの羅列が多いようなら、別の表現ができないか考えてみましょう。
- 別な表現をするのに、見えていない所があったら確かめてみましょう
- 近くの人がどのように捉えているかも聞いてみましょう
- きっと違う視点に気付くはず



良さ・できること(成長の手がかり)を見つけるトレーニングをしましょう。

### ■ 練習問題

Aちゃんは飽きっぽくて、次から次へとおもちゃを散らかす



気持ちの中には「困った子」という思いが潜在している

### ■ ポジティブ表現に変更

Aちゃんは好奇心旺盛で、新しいおもちゃに興味を示して使っている



このようなAちゃんのための環境をどう整えるか

## ポジティブな視点だけでは 解決できないこと・・・

- 落ち着きがなく、座ってられない



「活発で元気が良い」

\*授業中に座ってられない状況を改善できる見方や情報とは言えない



・図や絵を使って説明すると5分くらいなら集中して黒板を見ている

・体育の時間は順番やルールを守ることが出来る

\*どのような環境におかれているのか、具体的な観察が必要になる



## ～ 研修2 ～ 環境調整の支援を学びましょう(1)

## 環境調整の支援ってどんなこと？

困っている本人が、  
頑張って自分を  
変えなくても、  
生活しやすくなる支援

だから、本人が  
生活しやすくなるように  
環境に  
ちょっとした工夫を  
加えます

| 教材2<br>step1 | 困っていること   | 「環境調整の支援」の例 | これが支援になる理由を考えてみましょう |
|--------------|-----------|-------------|---------------------|
| 問題1          | 耳の聞こえが悪い  |             |                     |
| 問題2          | 目が見えない    |             |                     |
| 問題3          | 手をうまく使えない |             |                     |

## これらは「環境調整の支援」です。

補聴器ですね。

これは点字ブロック。

これは万能カフといいます。

これらが  
支援になる  
理由は？

| 教材2<br>step1 | ①何に困っているかを考えましょう | “物”の「環境調整の支援」の例 | これが支援になる理由は・・・                                            | ②“人”の「環境調整の支援」は？ |
|--------------|------------------|-----------------|-----------------------------------------------------------|------------------|
| 問題1          |                  |                 | 目で書えなくても、電卓のキーを間違えずに押していけばOKで、正確な計算もできる。                  |                  |
| 問題2          |                  |                 | 鍋でお湯を沸かすのひ方を習ってきいれれば・・・<br>カレーを煮べないと思ったときに、いつでも食べることができる。 |                  |
| 問題3          |                  |                 | ズバリ！<br>かゆいところに手が届く！                                      |                  |

## これらも「環境調整の支援」です

電卓がなかったら、  
みなさん、どうなりますか？

レトルトカレー、  
便利ですね！

これらの物が、もしなければ、  
“人の支援”が必要です。

孫の手がないときに、  
イライラませんか？

これらが  
生活に必要な  
理由は？  
何に困っている？

## 「環境調整の支援」って(再)

- あれば便利。
- あればできる、楽にできる。
- 簡単にできる、短時間にできる。
- やり方がわかる。
- 失敗が少なくなる。



だから...

- やる気になれる。
- 頑張れる。

| 教材と<br>map03 | 困っていること   | 「環境調整の支援」をすれば... | ☆☆☆ができる！   | その支援のタイプは、<br>“物” “それとも” “人” |
|--------------|-----------|------------------|------------|------------------------------|
| 記入例          | 目が悪くても... | メガネを借れば          | 本が読める      | 物 ・ 人                        |
|              |           | 文字を大きくすれば        |            | 物 ・ 人                        |
|              |           | 部屋を明るくすれば        |            | 物 ・ 人                        |
| 問題1          | 臂が低くても... |                  | 本の物が取れる    | 物 ・ 人                        |
|              |           |                  |            | 物 ・ 人                        |
|              |           |                  |            | 物 ・ 人                        |
| 問題2          | 地図が読めなくても |                  | 目的地に自分で行ける | 物 ・ 人                        |
|              |           |                  |            | 物 ・ 人                        |
|              |           |                  |            | 物 ・ 人                        |

## 「すくらむ」の実践演習に入ります。

- 配布した記入済みの様式6から様式8を作成します。
- その前に、様式6(子ども理解シート)を共有すること...の意味を考えましょう。

## 「捉え方」を共有をしましょう

- 否定的な見方をされると、保護者は傷ついた  
り抵抗したりします。
- 成長や発達の支援は  
否定からの出発はありません
- 現状を正しく伝え、保護  
者や関係者で認識する  
ための表現について考  
えましょう

\* その子の良さや伸びる芽  
を認めながら、現状の集  
団や社会の中での困りこ  
とを保護者や関係者と共  
有するための表現方法や  
配慮について学びましょ  
う。

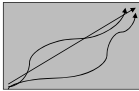


## 共有をするということ

- 何を共有するのか
  - 具体的には
- \* こどもの現状
  - \* 環境の確認
  - \* 支援体制の確認
  - \* 家庭、集団生活、人との関わり方、成長の状況など
  - \* 地域、生活環境・家族関係、学校等の環境、行事、友達関係など
  - \* 保護者の協力者の有無、サービスの利用、支援者の配置状況など

## こどもの現状を共有する

- 良いところや伸びる芽を伸ばしていくことが目的であることを最初に確認する。
- 成長の過程を確認し、連続の線の中での現状を見る
- 現状の中で成長が妨げられている部分と一緒に探して確認する。



## 環境の調整と支援者の役割

- こどもを取り巻く環境を確認する
  - \* 家族の中での出来事（引越しや新しい家族の誕生や別れなど）
  - \* 学校行事や席換え等（友達との出来事など）
  - \* 担任の異動等関わる人の動き
- こどもの様子を把握している人はだれか
- 関わり方の違いでこどもを混乱させていないか（一貫性をもった関わりが持たれているか）
- 目標を共有しているか
- できることを確実にやっているか
- 出来ないことを目標にしていないか